

区政への一般質問(要旨)

〈全文は、板橋区議会ホームページに掲載します〉



高沢 一基
(民主クラブ)

休日保育の実現を求めて

【質問】子育てをしながら日曜や祝日に働く人に過度な負担をかけることなく、そして理解ある民間保育所の努力に甘えるだけでなく、行政としての責任を果たすため、区として休日保育の実施を。

【区長】実施には課題も多いため、ニーズを見極め研究したい。

【質問】地域住民の協力が

なければ避難所運営は成り立たない。いざというときの行動を実際に避難する地域住民が事前に確認するために、各校にてせめて一度以上は避難所開設訓練の実施を。

【区長】全ての避難所で開設訓練を実施し、災害に備えることは重要。今後も訓練の主体となる学校防災連絡会において訓練実施を依頼していく。

※以上のほか、どの世代でも楽しめるスポーツ設備の充実について質問があった



おなだか勝
(民主クラブ)

学校体育館の冷房化を求めて

【質問】上板橋第二中の統合改築工事では、再度入札を行う前に設計変更や予算増額を行い、体育館の冷房化を。

【教育長】工事内容の見直しには、確認審査機関との再協議や契約の変更、予定金額の見直しなども必要。これらの

大山のまちづくりを問う

課題解決が図れるか、関係部署と調整・検討している。

【質問】用地買収に応じた店舗跡地の増加が今後予想される。周囲の壁を子どもたちから募集した壁面アートで飾り、空き地は「お休み処」や管理者を置いた日中のみの駐



山田 貴之
(自民党)

防災無線の電話応答サービスの周知徹底を求めて

【質問】防災無線の音声は、雨の際に特に聞こえづらくなる。放送内容を電話でも確認できることを周知すべきでは。

【区長】ホームページや防災ガイドブックなどで周知しているが、全戸配布のいたばしガイドでも周知する。

遊び場の早期開設を求めて

【質問】大規模公園などの開放施設の改修時には、「遊び場のオープン」を早める」視点での計画を見解は。

【区長】工期の短縮などに努めているが、設計段階や工事段階での創意工夫を行う。

教育について問う

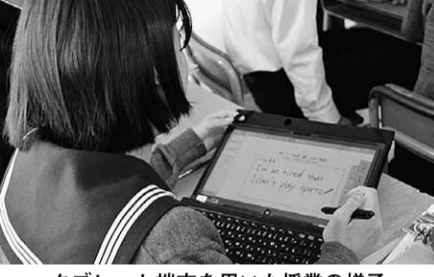
【質問】①教育現場でのICT活用はますます進められるべき。区内小・中学校ではタブレット端末を活用しているが今後の方針は。②学校における夏の暑さ対策は、ソフ



店舗跡地の様子

【区長】ハッピーロード大

ト・ハード両面からの対策が肝要。速やかな対策の研究と予算措置を求めるが、見解は。



タブレット端末を用いた授業の様子

【教育長】①今後もICT機器のさらなる活用を図り、国が掲げる整備目標の水準に近づくよう、関係課と協議する。

②大型の扇風機や冷風機の設置、日陰をつくるなどの方策が有効と考える。各学校の状況によって方策を研究する。

スポーツ機会の充実を求めて

【質問】①自身の提案で実現した加賀・新河岸の庭球場の早朝時間帯は、利用実績が良いと聞く。都立赤塚・城北中央公園にも早朝時間帯の拡大を都に要望すべきでは。②高島平少年サッカー場の人工芝生地の早期実現。見解は。

【区長】①区民のスポーツ機会の充実につながることから、機会を捉えて都に働きかける。②砂ぼこり対策や、スポーツ機会の拡大につながる

荒川氾濫時の対策を求めて

【質問】浸水想定地域に住む障がい者や高齢者など、支援が必要な区民の避難について区の見解は。

【区長】要配慮者利用施設の避難対応タイムラインの策定に取り組みは、福祉避難所の拡大を進めている。避難支援や移送手段の確保などコミュニケーションによる態勢づくりを展開していきたい。

改元時の窓口対応を求めて

【質問】天皇即位・改元の日に婚姻届の窓口を閉庁することで祝賀ムードの演出につながるかと考えるが、見解は。

【区長】通常の夜間窓口での受付のほか、婚姻届の受付に戸籍住民課の職員が対応

認知症高齢者の見守り強化を

【質問】認知症サポーター養成講座は、高齢世代を親に持つ子世代が受講することで、地域の見守り強化や、自身の親の認知症の早期発見につながるかと考えるが、仕組みづくりについての見解は。

【区長】今後の講座への参加呼びかけの際には、子世代にもより関心を寄せてもらえるよう工夫していきたい。

紙おむつの園内処分を求めて

【質問】区立保育園における紙おむつ処分の検討状況は。

【区長】保管場所や処分費用の検討を進めている。実施に向け前向きに検討を進める。



安井 一郎
(自民党)

受動喫煙防止対策を問う

【質問】屋外喫煙所の整備の必要性が今後高まることから予想されるが、整備の際には公有地の活用だけでなく、民間とタイアップした新たな施策を検討すべきでは。

【区長】方向性が決まれば、都の補助金を活用し、民間が公衆喫煙所を整備する際の助成制度の創設について検討する。

生活保護不正受給対策を問う

【質問】区における生活保護の不正受給の最大額は29年度に756万円、28年度には1千万円を超えるケースが存在した。早期の発見ができなかった原因と今後の対策は。

【区長】適正な収入申告がなされておらず、銀行口座の情報も十分に把握できなかったことが原因。今後も金融機関本店への口座一括調査の活用や、収入申告義務の周知徹底を図っていく。

風しん対策について問う

【質問】今後も風しん感染の猛威が衰えない場合、各自治体の対策が足並みを揃えて進むように、国へ対策強化を求めていくべきでは。

【区長】風しんの流行を終息させるためにも、機会を捉えて国に要望していく。

職員の服事故について問う

【質問】30年度は10月までに6名の職員が懲戒処分を受けている。事故後の再発防止

医療的ケア児の支援を求めて

【質問】医療的ケア児の専門部会を設置し、諸課題を整理したうえで支援事業の実施を求めるが区長の方針は。

【区長】第1期障がい児福祉計画に「重症心身障がい・医療的ケア児会議」を位置付けた。区職員、医療・福祉関係者、保護者などの参加を予定しており、この中で諸課題を整理し支援事業につなげる。

移動支援の充実を求めて

【質問】区は高齢者や障がい者の移動支援として、補完的交通網の整備については、バス路線とする方針で決定しているのか。

【区長】高齢者、障がい者の福祉分野と連携し対応方策を整理していく。

情報格差への対応を求めて

【質問】区が提供する様々なアプリは、人口に対してダウンロード数が少ない。多様な広報展開による周知を。

【区長】いたばしぐらしガイドや商業施設でのPRイベントなどで周知に努めている。今後も周知方法を検討する。

策が全くなかされていなく感じるが、その効果についての見解は。

【区長】服事故が続いている現状を受け、これまでの再発防止策を精査し、さらなる徹底を図っていく必要があると考える。

※以上のほか、昆虫を食べる外国人について質問があった



元山 芳行
(自民党)

産業振興策について問う

【質問】地の利をいかして、ベンチャー育成のプラットホムの創設を求めるが見解は。

【区長】既存の地域資源の活用も含め、効果的なプラットホムの創設に取り組む。

自転車走行空間整備を求めて

【質問】特例都道第47号線の自転車走行空間の整備について整備行程の詳細は。

【区長】30年度は西台駅南交差点から連根三丁目歩道までを整備し、残り区間は次年度中に整備予定と聞く。

脱炭素施策への転換を求めて

【質問】区の低炭素施策を改め、「脱炭素施策」に計画を変更すべきと考えるが、見解は。

【区長】近年の国際的な地球温暖化対策の流れに鑑み、今後は区として「脱炭素」を視野に施策展開を図っていく。

夢つむぐプロジェクトと英語教育について問う

【質問】英語のつどいや英語村は対象者が極めて限定的である。全児童・生徒を対象とするよう改めるべきでは。

【教育長】英語村については、小学生の定員拡充など、希望する子どもへの学びの機会を確保し環境整備を進める。

※以上のほか、違法駐停車両の取り締まり、未就学児対策予算の今後、教育長のマネージメントと教育委員会について質問があった

(7面に続く)